

# やくも少年少女 ゆめ議会



11月29日（金）、「第23回やくも少年少女ゆめ議会」が、八雲町議会議場で開催されました。今回は、中学生9人（うち1人が議長）が、日頃感じているまちづくりに対する提案や意見を発言しました。その内容をまとめて掲載します。（ページの都合上、要約し掲載しています）

なら  
奈良みづき 議長（八雲中学校3年）

## ゆめ議会の感想～貴重な経験～

私が今回、ゆめ議会に参加したいと思ったのは2年前に兄がゆめ議会の議長を務めたからです。兄から、ゆめ議会の楽しさを聞いて私も3年生になつたら絶対議長を務めたいと思っていました。

初めて議場を見たとき、その大きさと本格的な内装に驚きました。しかし、それ以上にこんなに大きく広い場所で進行を務めることができるのかという喜びの気持ちがありました。今思うとしっかりとリハーサルをしたから本番も無事に終えることができたのだと思いました。

本番は、地域の方々もたくさんいて緊張するかと思いましたが、ワクワクと充実感でいっぱいでした。礼法などもあって、議場が重要で真剣な所だと感じることができました。実際に始まるといつも一人一人が違う意見を出していく、説得力のある要望などに思わず納得していました。町長さんや担当の方々がしっかりと答えてくれるのを聞きながら、予算の都合・立地条件などによって叶えるのが困難な要望はあるけど、八雲町のことをしっかり考えてくれているのだと知ることができました。

私は今回のゆめ議会を通して、町のために働くということの素晴らしさを知りました。職員の方々が優しく丁寧に教えて下さったおかげで無事に議長をやりとげることができました。本当にありがとうございました。

議場で体験するということは、中々することのできない経験なのでこの先も長くゆめ議会が続いて欲しいと思います。

にしやま あいり  
西山 愛梨 議員（八雲中学校3年）

## 八雲のシンボルは何か!?

他の市町には特産品、観光資源がたくさんあると思います。今一度、町全体で推していくものを考えみては。

### 答弁)町長

八雲町といえば、ホタテやあわび、乳製品といった特産品、日本海の夕日や白樺並木のパノラマロードといった素晴らしい景色など多くの資源があります。たくさんの資源が八雲町にあるため、「これが八雲町だ」ということを絞り込むことは、非常に難しいことだと考えています。

### 八雲をさらに盛り上げたい。

商店街にはシャッターが閉まっている空き店舗がめだちます。しかし、地域おこし協力隊のおかげで徐々に盛り上がってきていると思います。この勢いで商店街の空き店舗が0になるよう、町として新たな制度はつくれないですか。

### 答弁)町長

町内の意欲ある方や町外からの地域おこし協力隊の方たちなども積極的に招き入れて、商業をはじめとするさまざまな仕事を創りあげられるような人を育てるこことによって産業の活性化を後押しし、活気ある八雲町を目指していくつもりです。

### ゆめ議会の感想～ゆめ議会で学んだこと～

私が今回、ゆめ議会に参加して感じたことは自分が知らないことがたくさんある、ということでした。

私は人前で話すことへの緊張と、上手に話すことができるのか、という不安で胸がいっぱいでした。さらに私の質問の順番はトップバッターでした。答弁の中には、難しい言葉や私が存じ上げていない取り組みもあり、驚きの連続でした。

今後の学校生活では、ゆめ議会で学んだ「疑問に思うこと」を意識していきたいと思います。何事にも関心をもち、細かな所を疑問に思い、物事を深く理解できるような大人になれるように頑張ります。